

要 約

試験委託者： 環境省

表 題： 1-ノナノールのオオミジンコ (*Daphnia magna*) に対する繁殖試験

試験番号： A090030

試験方法： 本試験は、OECD Guidelines for Testing of Chemicals 211 (2008) “*Daphnia magna* Reproduction Test” に準拠して実施した。

- 1) 供試生物： オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 2) 試験用水： Elendt M4 medium
- 3) 暴露期間： 21 日間
- 4) 暴露方式： 半止水式（毎日試験液の全量を交換）
- 5) 供試生物数： 10 頭／試験区（1 頭／容器）
- 6) 試験温度： 20 ± 1 °C
- 7) 照明： 室内光，16 時間明（800 lux 以下）／8 時間暗
- 8) 試験濃度（設定値）：

試験区	濃度 (mg/L)
対照区	—
助剤対照区	—
濃度区 1	0.20
濃度区 2	0.45
濃度区 3	1.0
濃度区 4	2.2
濃度区 5	5.0

公比 2.2

助剤： *N,N*-ジメチルホルムアミド，100 μ L/L
（濃度一定，ただし対照区は使用せず）

- 9) 分析方法： ガスクロマトグラフ質量分析（GC/MS）法

結 果

以下の結果は、測定値をもとに算出した。なお、8日目以降の分析の際に分析値が検出限界値未満となる濃度区があった。そのため、阻害濃度の算出の際に検出限界値未満の分析値は検出限界値である 0.01 mg/L を用いて計算を行った。

21日間の結果		(95%信頼限界)
親ミジンコの半数致死濃度 (LC50) :	0.529 mg/L	(0.251~1.82 mg/L)
50%繁殖阻害濃度 (EC50) :	1.12 < EC50 < 4.02 mg/L	(算出不可)
最大無作用濃度 (NOEC) :	0.0969 mg/L	(-)
最小作用濃度 (LOEC) :	0.207 mg/L	(-)